

大日向食堂だより

-Vol.4-

ランチルームは

いつでもいつでも
一般開放しております



卒業生の方、昔から大日向に住んでおられる方、
町外や遠方からなど、いろんな方が大日向食堂に
足を運んでくださっています。来られた方と
一緒にお話できるのが、私達や子ども達も楽しみです♪

最近の できごと 出来事



おおひなたうどうかい
大日向運動会

とても気持ちのいい晴れの日・6/1に運動会が行われました！
誰でも自由に参加OK！出たい競技に出る、というスタイル。
子どもからお年寄りまで、皆がのびのびと楽しめました♪



「学校ごはん」にこめた わたしのオモイ



いつもごはんを作っているスタッフ
(左から、なかじー、ひろみん、ばんださん)の
オモイを紹介します。 みんなに知ってほしいな！

私たちは大日向食堂で提供するごはんを、あえて「給食」という言葉を使わず、「学校ごはん」と呼ぶようにしています。
そもそも給食が始まったきっかけは、戦争の後に食べるものがなかった子どもたちを助けるためだったり、
アメリカが日本に小麦を売りたいためだったり、色んな理由があります。「一方的に食事を配給する」というイメージも強いです。

食べ物にはそれぞれ違う栄養があるから、色んな食材を、色んな調理法で摂ることは大切です。
だから、好きなものばかり食べるのではなく、バランス良く食べたほうがいい。もちろん嫌いなものや苦手なものは少なく、
好きなものが沢山ある方が食事は楽しいです。食べたことが無いものにチャレンジしてみたら、食の幅が広がるかもしれない。
“食べる”ということは、生きる力を育むことです。生きている限り一生続くことであり、沢山の時間や手間を費やします。



私たちはとにかく皆さんに、食べることを「楽しい」と思ってもらいたい。食事の時間を「ワクワク」してほしい。
食べることに楽しんで向き合ってもらいたいから、私たちは今までの「学校給食」へのイメージを変えたくて、「ごはん」と呼ぶようにしました。
大日向食堂は「皆で食卓をつくる」ということも、テーマの1つにしています。
楽しい時間を過ごしながらか、食への学びを深めてほしい。大日向食堂が、そこにいる人の“団らん”の場になってほしいという願いを込めています。その場にいる皆さんで食卓を囲んで、色んな話をしながらごはんを楽しんでほしいです！

食堂からの おねがい

◆◆みんなで気持ちよくごはんを食べたいから、気をつけてみよう♪◆◆

✖ おたまやしやもじを
よご
汚さない

食べ物をさわる部分を
手で触ったり、机の上においたり
すると、汚れてしまうよ。



✖ 食堂では走らない・
おお
大きな声を出さない

走ると、ほこりやごみが舞います。
また、大声を出すとみんながびっくり
します。ご飯を食べている人の迷惑に
なるから、きをつけようね。

飲み物や食べ物を
こぼしたときは、どうする？

食堂のカウンターには、
ぞうきんと青い布巾を
準備しています。



💡 ごみを減らそう！

- ごはんは、「自分が食べられる量」だけ注ぐようにしようね。沢山取って残してしまうと、ごみになってしまうよ。
- 牛乳パックを潰すと、“かさ”が減らせます。潰して捨ててね！

